

Ⅲ. 単位制度と卒業・修了要件

1. 単位制度

大学の学修はすべて単位制になっています。単位制とは、すべての科目に一定の単位数が定められており、その科目を履修申請して単位を修得し、定められた卒業要件単位数を満たすことで卒業が認定される制度です。

(1) 単位とは

学修の量を数字で表すものであり、原則として各単位数によって必要な学修時間が定められています。

(2) 授業方法と授業時間、単位の計算方法

授業は、講義、演習、実験、実習、実技のいずれかの方法またはこれらの併用により行うものとします。

『講義』：教員の解説を中心にして学ぶことを主とした授業。

『演習』：研究・発表・討議・活動などを行うことを主とした授業。

物事に習熟するために、繰り返し学ぶことや実際を規定し学ぶことを主とした授業。

『実験』：ある理論や仮説を確認するために、実際に経験することを主とした授業。

『実習』：知識や技術を、実際の現場で、または実物を用いて学ぶことを主とした授業。

『実技』：技術や演技などを実際に行うことを主とした授業。

いずれの方法においても、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とします（学則第24条）。なお、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果及び授業外に必要な学修（予習・復習等）を考慮して、標準的な授業時間数を次のとおり定めます。

① 講義、演習

15時間の授業と30時間の授業外での学修（予習・復習等。以下同じ）をもって1単位とするものと30時間の授業と15時間の授業外での学修をもって1単位とするものがあります。

② 実験、実習、実技

30時間の授業と15時間の授業外での学修をもって1単位とします。ただし、授業科目によっては45時間の授業をもって1単位とするものがあります。

③ 上記①及び②の併用により行う場合は、その組み合わせに応じ、規定する基準を考慮して定められた時間の授業と授業外の学修をもって1単位とします。

※各時限は90分で行われますが、2時間として計算します。

(3) 単位認定

1つの授業科目に定められた単位を修得するためには、次の3つの要件を満たしていなければなりません。

- ① 単位の認定を受けようとする科目について履修申請をすること。
- ② その科目の授業に出席し、履修に必要な学修をすること。(予習、復習を含む)
- ③ 科目のシラバスの成績評価の方法と基準により、合格(60点以上)をすること。

2. 履修申請制度

履修申請とは、科目を履修するための手続きです。この履修申請をしなければ、仮に授業に出席していたとしても、試験を受けることや単位認定を受けることができません。履修申請は学修計画の基礎となるものであり、すべて自分の責任において取り組まなければなりません。

履修申請は、各学期当初の定められた期間に行います。その方法についての詳細は「VI. 履修申請」を参照してください。履修申請の際には綿密に履修計画を立ててください。

3. 大学の卒業要件

卒業は大学が定める教育課程の修了であり、「学士」の学位が授与され、その証明が卒業証書・学位記です。卒業するためには、大学が定める教育課程(カリキュラム)にしたがって学修し、所定の単位数を修得しなければなりません。

(1) 卒業要件

本学において、卒業認定を得ようとする者は、次の2つを満たさなければなりません。

① 所定在学年数

本学の教育課程(カリキュラム)を修了するには、4年以上在学しなければなりません。休学した場合は自動的に卒業が延期されます。

② 所定単位の修得

それぞれの入学年度ごとに示された科目配置表に基づき、科目区分、領域からそれぞれ指定された単位数を修得し、教育課程(カリキュラム)全体から卒業要件単位として定められている単位数を修得しなければなりません。入学年度ごとの所定単位の修得については「4. 学部ごとの卒業要件単位数表」を確認してください。

(2) 卒業の時期

卒業認定は、毎年度末(3月)に行います。ただし、教授会が必要と認めるときは、在学期間が4年以上の者について前学期終了時(9月)に卒業を認定することがあります。

4. 学部ごとの卒業要件単位数表

地域経営学部（2024～2025年度入学生）

卒業要件（地域経営学科）

科目区分		必修	選択	合計	
共通教育科目	外国語科目群		2単位	4単位	6単位
	一般教養科目群	人文系	—	18単位 *1	18単位
		社会系	—		
		自然系	—		
		保健体育系	—		
全学共通科目群		—	16単位	16単位	
専門教育科目	学部共通科目群	演習科目	16単位	—	16単位
		卒業研究	4単位	—	4単位
			4単位	20単位	24単位
	学科専門科目群	公共経営系	—	34単位	34単位
		企業経営系			
交流観光系					
単位互換科目、他学部科目を含むすべての科目				8単位	
卒業要件単位 合計				126単位	

*1 人文系、社会系、自然系からそれぞれ4単位以上修得すること

卒業要件（医療福祉経営学科）

科目区分		必修	選択	合計	
共通教育科目	外国語科目群		2単位	4単位	6単位
	一般教養科目群	人文系	—	16単位 *1	16単位
		社会系	—		
		自然系	—		
		保健体育系	—		
全学共通科目群		—	16単位	16単位	
専門教育科目	学部共通科目群	演習科目	16単位	—	16単位
		卒業研究	4単位	—	4単位
			4単位	12単位	16単位
	学科専門科目群	経営系	—	42単位	42単位
		医療福祉系	—		
単位互換科目を含むすべての科目				10単位	
卒業要件単位 合計				126単位	

*1 人文系、社会系、自然系からそれぞれ4単位以上修得すること

地域経営学部（2020～2023年度入学生）

卒業要件（地域経営学科）

科目区分		必修	選択		合計
			選択必修		
共通教育 科目	外国語科目群	4 単位	—	2 単位	6 単位
	一般教養科目群	—	18 単位*1	4 単位	22 単位
	全学共通科目群	2 単位	10 単位*2	10 単位	22 単位
専門教育 科目	演習系科目群	24 単位	—	—	24 単位
	共通専門科目群	—	—	14 単位	14 単位
	専門科目群学科 (地域経営学科)	—	—	30 単位 *3	30 単位
合計		30 単位	28 単位	60 単位	118 単位
上記科目区分に加えて、他学科、他学部、他大学の科目を含め自由に選択*4					10 単位
卒業要件単位 合計					128 単位

*1 人文系、社会系、自然系からそれぞれ6単位以上修得すること

*2 このうち「地域理解科目」から10単位以上修得すること

*3 「学科共通科目」から10単位以上、「公共経営系推奨科目」、「企業経営系推奨科目」、「交流観光系推奨科目」から合計20単位以上を修得すること

*4 他大学とは学則第27条第2項に基づく他の大学又は短期大学との協定及び大学コンソーシアム京都の行う単位互換のことを指す。

卒業要件（医療福祉経営学科）

科目区分		必修	選択		合計
			選択必修		
共通教育 科目	外国語科目群	4 単位	—	2 単位	6 単位
	一般教養科目群	—	18 単位*1	4 単位	22 単位
	全学共通科目群	2 単位	10 単位*2	10 単位	22 単位
専門教育 科目	演習系科目群	24 単位	—	—	24 単位
	共通専門科目群	—	—	14 単位	14 単位
	専門科目群学科 (医療福祉経営学科)	—	—	30 単位	30 単位
合計		30 単位	28 単位	60 単位	118 単位
上記科目区分に加えて、他学科、他学部、他大学の科目を含め自由に選択*3					10 単位
卒業要件単位 合計					128 単位

*1 人文系、社会系、自然系からそれぞれ6単位以上修得すること

*2 このうち「地域理解科目」から10単位以上修得すること

*3 他大学とは学則第27条第2項に基づく他の大学又は短期大学との協定及び大学コンソーシアム京都の行う単位互換のことを指す。

地域経営学部（2017～2019年度入学生）

卒業要件（地域経営学科）

カテゴリー		卒業要件単位数
共通教育科目	外国語科目群	6 単位以上 (必修 2 単位、選択 4 単位)
	一般教養科目群 - 人文系	6 単位以上
	一般教養科目群 - 社会系	6 単位以上
	一般教養科目群 - 自然系	6 単位以上
	演習系科目群	22 単位以上 (必修 22 単位)
専門教育科目	学部共通専門科目群 ※1	28 単位以上 (必修 4 単位、選択必修 8 単位、選択 16 単位)
	学科別専門科目群 ※2	32 単位以上 (選択必修 12 単位、選択 20 単位)
その他		全カテゴリーから 20 単位以上
合計		126 単位

■各卒業要件単位数を超えて修得した単位は「その他」に含まれる。

■選択必修については下記のとおりとする。

※1 「簿記論Ⅰ」「簿記論Ⅱ」「工業簿記」「社会調査論」「環境学」「公共経営入門」「統計学」「経営学入門」「経済学入門」から 8 単位以上修得すること

※2 「行政学」「自治体政策法務」「ミクロ経済学」「マクロ経済学」「財務諸表論」「経営分析」「流通システム論」「ロジスティクス論」「企業論」「地域農業システム論」から 12 単位以上修得すること

卒業要件（医療福祉経営学科）

カテゴリー		卒業要件単位数
共通教育科目	外国語科目群	6 単位以上 (必修 2 単位、選択 4 単位)
	一般教養科目群 - 人文系	6 単位以上
	一般教養科目群 - 社会系	6 単位以上
	一般教養科目群 - 自然系	6 単位以上
	演習系科目群	22 単位以上 (必修 22 単位)
専門教育科目	学部共通専門科目群 ※1	28 単位以上 (必修 4 単位、選択必修 8 単位、選択 16 単位)
	学科別専門科目群	32 単位以上 (選択必修 12 単位、選択 20 単位)
その他		全カテゴリーから 20 単位以上
合計		126 単位

■各卒業要件単位数を超えて修得した単位は「その他」に含まれる。

■選択必修については下記のとおりとする。

※1 「簿記論Ⅰ」「簿記論Ⅱ」「工業簿記」「社会調査論」「環境学」「公共経営入門」「統計学」「経営学入門」「経済学入門」から 8 単位以上修得すること

情報学部 (2024～2025年度入学生)

卒業要件 (情報学科)

科目区分		必修	選択	合計	
共通教育科目	外国語科目群	2単位	4単位	6単位	
	一般教養科目群	人文系	—	38単位 *1	38単位
		社会系	—		
		自然系	—		
		保健体育系	—		
全学共通科目群	—				
専門教育科目	PBL	12単位	54単位 *2 *3	78単位	
	情報専門基礎	12単位			
	専門科目群	データサイエンス トラック			—
		ICTトラック			—
人間・社会情報学 トラック		—			
単位互換科目、他学部・他学科科目を含むすべての科目				6単位	
卒業要件単位 合計				128単位	

*1 一般教養科目群人文系、社会系、自然系からそれぞれ4単位以上修得すること

*2 情報専門基礎の数学科目6科目（微分積分Ⅰ・微分積分Ⅱ・線形代数Ⅰ・線形代数Ⅱ・数学演習Ⅰ・数学演習Ⅱ）の中から4単位以上修得すること

*3 専門科目群いずれかのトラックの実践系、基盤系、理論系からそれぞれ4単位以上修得すること

情報学部 (2020～2023年度入学生)

卒業要件 (情報学科)

科目区分		必修	選択		合計	
			選択必修			
共通教育 科目	外国語科目群	4単位	—	2単位	4単位	6単位
	一般教養科目群	—	18単位*1	4単位		22単位
	全学共通科目群	4単位	10単位*2	8単位		22単位
専門教育 科目	PBL	20単位	—	—	4単位	20単位
	情報専門基礎	6単位	—	—		6単位
	専門科目群	—	12単位*3	36単位		48単位
卒業要件単位 合計		34単位	40単位	50単位	4単位	128単位*

*1 人文系、社会系、自然系からそれぞれ6単位以上修得すること、そのうち自然系からは、「数学基礎Ⅰ」、「数学基礎Ⅱ」、「線形代数基礎」、「微分積分基礎」、「多変量解析」、「線形計画法」、「線形代数」、「微分積分」のうちから4単位以上を修得すること

*2 このうち「地域理解科目」から10単位以上修得すること

*3 いずれかのトラックの実践系、基盤系、理論系からそれぞれ4単位以上を修得すること

※ 合計欄の縦の合計には、共通教育科目または専門教育科目全体からの選択4単位を含む。

5. 大学院の修了要件

(1) 修了要件

本学地域情報学研究科地域情報学専攻の修了要件は、2年以上在学し、以下の表から合計30単位を修得し、必要な研究指導を受けたうえで、最終成果物として修士論文またはプロジェクト実践報告書の審査及び試験に合格することになります。

科目区分	必修	選択	合計
(1) 研究・プロジェクト科目	4単位	12単位	16単位
(2) 情報学科目	—	6単位	6単位
(3) 文理融合科目	—	4単位	4単位
(4) 社会科学系科目	—	—	—
上記科目区分(1)～(4)の中から自由に選択			4単位
修了要件 単位数			30単位

※情報学研究コースの学生は「地域情報学特別研究Ⅰ」「地域情報学特別研究Ⅱ」、地域情報プロジェクトコースの学生は「地域情報プロジェクト実践Ⅰ」「地域情報プロジェクト実践Ⅱ」をそれぞれ研究・プロジェクト科目より修得すること。

(2) 最終成果物の審査方法

成果物	審査方法
修士論文	修士論文審査を行う。修士学位論文に基づいて、主査・副査による論文審査を行う。
プロジェクト実践報告	プロジェクト実践報告書についても、修士学位論文と同様に修士学位審査を行う。原則として、対象とした社会課題のステークホルダーが参加できる公開の場でプロジェクトの成果報告を行うことを要件とする。

(3) 最終成果物の提出スケジュール(予定)は以下のとおりになります。

年次	月	情報学研究コース 修士論文 (修士(情報学))	地域情報プロジェクトコース プロジェクト報告書 (修士(学術))
1年	4～3	1年次では以下の③点について取り組む。 ① 仮テーマと研究内容を指導教員と相談し、決定する。 ② ①に基づき、履修科目を決定する。 ③ プロジェクトおよび研究活動のためのスキルの習得、文献購読法、調査法、データ解析法などを学ぶ。1年次が終了(2～3月ごろ)するまでに、所属コース、最終成果物(論文 or 報告書)を決めておく。	
2年	4	研究テーマと所属コースの決定	
	5～8	研究活動	
	9	中間報告会	
	10～11	研究活動	
	12	下旬：報告書概要の提出	

1	中旬：修士論文のタイトル提出 下旬：修士論文提出	中旬：報告書タイトル、報告書提出 下旬：随時、報告会開催（地域の関係者に一般公開の場を設ける）
2	中旬：修士論文発表会	中旬：主査、副査による報告書審査
3		

(4) コース選択について

1年次は、自らの研究・プロジェクトのテーマに関連する授業を幅広く受講します。2年次の4月には、研究活動を重視する「情報学研究コース」、プロジェクト実践を行う「地域情報プロジェクトコース」のいずれかに所属することになります。コースの決定は希望調査によりおこないます。

コースが決定したら、以下の表のとおりコースに応じた科目を履修することになります。

コース名	情報学研究コース	地域情報プロジェクトコース
履修科目	地域情報学特別研究Ⅰ 地域情報学特別研究Ⅱ	地域情報プロジェクト実践Ⅰ 地域情報プロジェクト実践Ⅱ
成果物	修士論文	プロジェクト実践報告書
学位	修士（情報学）	修士（学術）

※コースを選択した時点で、履修科目、成果物、目指す学位が決定します。2年次の4月に、情報学研究コースを選択した場合は「地域情報学特別研究Ⅰ・Ⅱ」を、地域情報プロジェクトコースを選択した場合は「地域情報学プロジェクト実践Ⅰ・Ⅱ」を履修することになります

6. 多様なメディアを高度に利用した授業について

本学では、全授業回数のうち半数以上の回で多様なメディアを活用して実施する授業方式（以下、「メディア授業」といいます。）により実施する授業があります。具体的には、ビデオ会議システムを利用したリアルタイムの双方向性型の授業や、録画したビデオ等をインターネット上で配信するオンデマンド型の授業などです。これらを授業で実施する場合は、各授業のシラバスに記載されていますので確認してください。メディア授業を受講して付与された単位は、最大60単位まで卒業要件単位数として認められます。

なお、全授業回数のうち半数未満の回で多様なメディアを活用して実施する場合、その授業は対面授業として扱われます。

7. 他大学等で修得した科目の単位認定

本学では教育上有益と認められた場合には、以下の単位が認定されることがあります。それぞれの学部の卒業要件に含む単位数に制限がありますので、詳細は学務課教務係までお問い合わせください。

- (1) 他の大学又は短期大学との協定及び大学コンソーシアム京都の行う単位互換事業に基づき、授業を履修し、修得した単位
- (2) 協定等を締結していない外国の大学又は短期大学に留学し、修得した単位
- (3) 短期大学又は高等専門学校の特攻科における学修及びその他文部科学大臣が別に定める学修
- (4) 本学に入学する前に他の大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位